



# 第 1332 回例会報告

平成25年9月19日(木) 晴

## 会長挨拶

会長 平山隆勇

### 大規模災害時の通信手段

先日の台風18号は、各地に大きな被害をもたらしました。諏訪地方は大した影響を受けずに済みましたが、何度か訪れたことのある、京都の渡月橋周辺が濁流に晒されている姿をテレビでみて驚きました。今年は竜巻の被害など、荒っぽい自然の脅威を映像でみる機会が多い気がします。9月1日は防災の日でしたが、その付近を防災週間、地域によっては、9月を防災月間として、防災訓練や防災への意識を高めるための期間にしています。

私が今年の6月まで務めさせて頂いていた諏訪郡医師会長の職務の一つに、「諏訪地域災害時医療対策委員会」の委員長というものがありません。この委員会は災害時の医療体制整備の重要性を考えて立ちあげられたもので、諏訪地区の三医師会、各地区の基幹病院、諏訪保健福祉事務所が主要メンバーとなっています。災害が一地区だけでは対応しきれない場合や、複数の地区にまたがる大規模な災害の場合などに、各医療機関がその規模に応じてどのように協力し合うかを検討する委員会です。そこで検討した内容を『諏訪地域 災害時医療対策マニュアル』というものに何とかまとめることができました。中央構造線と糸魚川静岡構造線が交差する諏訪地域の人々はもと大規模災害に関心が高いですが、2年半前の東日本大震災の教訓から、災害時医療の重要性に対する認識が一気に高まったことから、完成を急ぎました。本日はその中のほんの一部ですが、災害発生直後の通信手段の確保についてのお

話しをしたいと思います。

先の大震災で分かったことですが、大規模な災害の発生後少なくとも 24 時間は固定電話、携帯電話がほとんどつながらない可能性が高いのです。幾ら医療機関の協力体制が整っても、救護所(主として診療所医師が配置される)と各基幹病院(市立岡谷病院、諏訪中央病院、富士見高原病院、諏訪共立病院等)そして災害時拠点病院(諏訪赤十字病院)の間がお互いに連絡できなくてはどうしようもありません。先ず、私達は衛星携帯電話に注目しました。これは通信衛星を使った携帯電話でかなり有効な手段ですが、準備できる台数に限りがある上、操作がかなり煩雑です。それに対し比較的安価で、量を確保し易いのが『簡易デジタル無線』です。いわゆるトランシーバーですが、ごく近い距離しか通信できない印象をお持ちの方が多くと思います。しかし法規の改定やデジタル化で、最近の機種はかなり遠くまで通信できるようになっています。付属の小さいアンテナで

#### ■出席報告

会員数	36名
出席対象	33名
出席者数	24名
出席率	72.7%
前回修正	93.9%

#### ■ニコニコBOX

21名	23,000円
累計	280,000円
目標額	130万円
達成率	21.5%

#### ■今週のことば

私の家にある山法師、時季はずれの花が一枝咲きました。私と同じ狂い咲き？

小口洋太郎

先日は誕生祝ありがとうございました。お陰様でなんとか生きて行けます

尾上正弘

#### ■次回のプログラム

- 9月30日  
3クラブ合同夜間例会
- 10月3日  
振替休会
- 10月10日  
ガールスカウト助成金贈呈と活動報告  
青少年奉仕委員会



は、せいぜい町内の連絡手段にしか使えません  
が、大きなアンテナを屋上に設置すると、何と私  
の家から富士見町や茅野市とも通信が可能なの  
です。私達委員会のメンバーは、諏訪赤十字病  
院を中心に毎月第一月曜日に通信訓練を行っ  
ています。欠点は同じチャンネルで1組しか通話  
ができないということですが、慣れてくると、各  
地区の医療機関同士で情報交換を行うことが  
充分可能です。今後通信訓練の範囲を広げて  
ゆけば、大規模災害の際、救護所にいる医師  
が重症患者の受入先を探すことや、薬品・機  
材が足りない時の充足依頼等が可能となる他、  
病院間でも様々な情報交換(受入可能な人数  
等)が可能になります。

めったに起こらないでしょうが、何時かは  
起こるかもしれない大規模災害に備え、行政  
だけでなく様々な職業の人達が準備をして  
います。いつも当たり前に使っている電話、  
電気、水、ガス等が使えなくなったらどう  
するか、また、自分たちが避難する場所の  
確認等、大規模な災害時の心構えを考  
える月にしていただきたいと思います。

## ◇幹事報告◇

### 【連絡事項】

- 1) 来週26日は、理事会です
- 2) 30日は、3クラブ合同例会です。  
会場マリオ 受付午後6時 点鐘6時30分  
会費3000円です

### 【受領文書】

- 1) 岡谷 RC よりウィークリーが届きました

## ◇委員会報告◇

### 【職業奉仕員委員会】

まだ理事会の承認を得ていませんが、事業計画  
通り10月17日は「諏訪圏メッセ」見学会の予  
定です。よろしくお祈りします

### 【青少年奉仕委員会】

先日よりお話ししています「下諏訪中学校職  
場体験受け入れ」の件ですが、受け入れ事業  
所がまだ少し不足しているようです。  
受け入れていただけるかた小口直久委員  
長までご連絡ください。

## 第 1332 回例会

国際奉仕委員会

### 国際奉仕と諏訪湖ロータリー

会員卓話例会

#### ロータリー国際奉仕の歴史

シカゴで始めた弁護士稼業が、ヤット順調に  
なった1900年頃、ロータリーの創始者ポール  
・ハリスは「この広いシカゴで、様々な職業  
から一人ずつ、政治や宗教に関係なく、お  
互いの考えを語り合える人を選び出し、相  
互扶助を目的とする集まりを作ったらどう  
だろうか」と考えました。それから5年後の  
1905年2月23日木曜日の夜、ロータリー  
の最初の会合がシカゴ市ディアボーン・ス  
トリートにあるユニティービルディング 7  
階 211 号室で行われた。



ヴァーモント州出身の弁護士ポールハリス  
インディアナ州出身の石炭商シルヴェスター・シ  
ール

イリノイ州出身の鋳山技師ガスタヴァス・ローア  
メイン州出身の洋服仕立師ハイラム・ショーレイ  
いずれも地方の小さな町から出てきて、大都市  
シカゴで苦労を重ねて、独立した人達。

ロータリー初期の目的は互いの友情と職業上  
の利益であった。これを批判する向きもある  
が・・・当時の商業道徳など皆無であったシカ  
ゴでは、RCの友情を基礎におく、信頼できる  
仲間同士の職業上の取引はとても貴重なこと  
だった。かくしてシカゴ RC の会員は急速に  
増加していった。

シカゴ RC が発足してから2年経ち、会員が10

0名になった3年目、初めて会長職についたポールハリスは、3つの抱負を持っていた。(時は1907年2月、P・ハリス40歳、まだ独身)

第一は、シカゴクラブをもっと大きくすること

第二は、この運動を他の都市にも広げること

第三は、クラブの目標に社会奉仕の項目を加える。

この第二、第三の目標には大多数の会員が反対だったが、これを辛抱強く説得し、市民から要望されていた公衆トイレを作るべく、その設置検討委員会開催を、当時の著名な市民運動のリーダーたちに呼びかけた。会議には20以上の市民団体の代表者が出席し(シカゴ商業クラブ、工業クラブ、市民クラブ、YMCA、さらにはシカゴ市長が市行政局代表を送り込む)会議の結果 P・ハリスを含め3人の実行委員会が発足し、紆余曲折の末、市役所の屋外にシカゴ最初の公衆便所が完成。

かくして、ロータリーは、社会奉仕活動を目標に加え、全米に広がっていった。

1910年には全米に16クラブ、会員数1800名となり、同年8月シカゴで全米大会が開催された。同年11月にはカナダのウィニペグにRCが誕生＝ロータリーはついに国際化の道を歩み始めた。

### ミンダナオ子供図書館支援について

ミンダナオ子供図書館の支援の妥当性について現地調査のために、溝口会員、渡辺会員、長崎で現地調査に行っています。

帰国後、ミンダナオ子供図書館財団の主催者松井友氏の講演会があります。ご参加ください

### これからの国際奉仕



諏訪湖ロータリーの、国際留学生の受け入れなど過去の実績と今後の展望についてまとめがありました

**ミンダナオから  
愛と勇気の風を…!!**

**ミンダナオ子供図書館財団  
松井智氏講演会**

10月7日月曜日 午後6時～8時  
場所 下諏訪商工会議所3F ホール  
会費 無料

ミンダナオ子供図書館への寄付を受け付けます